

製品名: Caspr ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87708**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:2000
分子量	Calculated MW:156 kDa; Observed MW:190 kDa

抗原情報

遺伝子名	Caspr
別名	P190; CASPR; NRXN4; CNTNAP
遺伝子ID	8506, 53321, 84008
SwissProt ID	P78357, O54991, P97846
免疫原	ヒト Caspr の合成ペプチド

背景

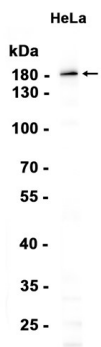
この遺伝子産物は、当初、コンタクチン-PTPRZ1 複合体に関連する 190kD のタンパク質として同定されました。1,384 アミノ酸から

なるこのタンパク質は、p190、あるいは「コンタクチン関連タンパク質」の頭文字をとって CASPR とも呼ばれ、複数のタンパク質間相互作用ドメインと推定される細胞外ドメイン、膜貫通ドメインと推定されるドメイン、そして 74 アミノ酸からなる細胞質ドメインを含んでいます。ノーザンブロット解析の結果、この遺伝子は主に脳で 6.2kb の転写産物として転写され、他のいくつかの組織では弱い発現が見られました。細胞外ドメインの構造はニューレキシンと類似しており、このタンパク質はコンタクチンのシグナル伝達サブユニットとして機能し、ニューロンにおける細胞内シグナル伝達経路のリクルートメントと活性化に関与している可能性があります。[RefSeq 提供、2009 年 1 月]

研究分野

-

画像データ



Caspr ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して HeLa 細胞抽出物をウェスタンブロット分析しました。